

職場の問題解決を

労働協約・協定改訂交渉

本部は8月10日に労働条件の改善を求めて申し入れをしました。申し入れは、私たちが仕事をしやすいように職場の様々な問題点を具体的に明らかにし、改善を求めています。そして、仕事がしやすいだけでなく、給料や昇格や年休についても改善を求めています。

例えば …

年休が絶対に流れないような要員を配置するように、強く求めています。8月が終わるにもかかわらず、猛暑の状態が続いています。夏季輸送をやっとの思いで乗り切ったものの体力は限界に達しています。夏休みがなかった分、せめて秋には家族や友達とユックリと過ごしたいと思いませんか。

これは、決して我がままな望みではありません。年休が取れば体調管理も出来るし、家族や友達とのゆとりを持った時間も過ごせます。そうすることで、出勤遅延の防止も出来るし安全も確保でき労働災害の防止にもつながります。しかし、年休が保存されたり、流れるようでは安全やゆとりは遠い世界の話でしかありません。

ところで、JR東海ユニオンも …

当然、ユニオン本部も申し入れをしていますが、その中には「年休」という文字がありません。あるのは「労使の協議経過に基づく適正な要員配置を行うこと」だけです。ユニオン本部は、私たちの職場の要員状態が「適正」ではないことを承知しているのです。年休が流れていることも保存されていることも休日買い上げが3泊行路程度だということも、何よりも組合員が疲れ切っていることを知っているのです。

わたしたち東海労は …

組合員が求めている切実で、ごく普通の要求実現のために職場でも、団体交渉でも声を大きくして改善を求めています。